

令和3年7月5日（月曜日）

# 建設通信新聞

## 参院選職域代表 足立氏に推薦状

### 応用地質グループ

応用地質は、自民党の足立敏之参院議員を来夏に予定される第26回参議院議員通常選挙（比例代表）の職域代表候補者として同社グループ挙げて推薦することを決め、1日に開いた下期経営計画発表会に合わせて成田賢社長が足立氏に推薦状を手渡した。写真。推薦状を受け取った足立氏



は、これまでの国政活動を振り返りながら、「この5年間は建設産業界にとって良い方向に状況が改善された時期となった」と語り、国土強靱化予算など公共投資予算の安定的な確保や公共工事事品質確保促進法の改正などを成果として紹介した。

さらに毎年のように大規模な災害が発生する一方、この20年間でインフラ投資を半減した結果、先進諸国のみならずアジア諸国に比べてもインフラ整備水準が低下し、GDP（国内総生産）も先進国で唯一伸びていないと指摘。他国がコロナ収束後を見据え、経済対策としてインフラ整備をさらに進めていけば「その差はますます広がる」として、今後わが国での計画的なインフラ投資とともに経済対策としての公共投資の必要性を強く発信していく姿勢を示した。